

とったどおー!

天草小学校ふるさとカルタ大会



◀大きなカルタを取った小学生

1月30日、天草小学校の体育館で「ふるさとカルタ大会」が開催されました。このカルタは、ふるさと教育の一環として天草町の名所や旧跡、町自慢を盛り込み、昭和61年に旧天草町教委が町内の小中学生から募集して作ったもの。この日は児童86人のほか、保護者や住民約30人も参加。通常のカルタを取り合う個人戦とサイズごとに得点の違う大カルタを取り合うチーム対抗戦を行い、終始、大きな歓声が飛び交っていました。

御利益がありますように

第9回くすぼ神々の郷ウォーク

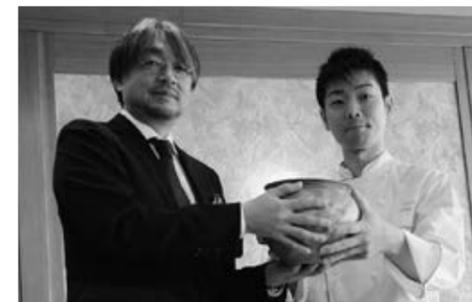


◀お堂を参拝する参加者たち

2月5日、有明町の楠甫地区コミュニティセンターを発着とする6.5kmと2.5kmコースで「くすぼ神々の郷ウォーク」が開かれ約350人が参加しました。地域おこしのため同地区振興会が開催し、今回で9回目。参加者は、コース途中の神社などを参拝。休憩所ではぜんざいやよし肉の串焼きなどのおもてなしを満喫していました。ゴール後は地元住民が料理を提供する「くすぼマルシェ」で昼食。抽選会やもち投げも行われました。

天草の塩、ブランド化をめざす!

あまくさんソルト料理人授賞式



◀総合プロデューサー小山薫堂氏から塩の入ったつぼを受け取る岸田シェフ

天草産の塩“あまくさんソルト”のブランド化と、塩を生かした商品の開発を行うため、1月30日、「あまくさんソルト料理人授賞式」とワークショップが開催されました。

天草産塩のPRなどを担う伝道師として選ばれたのは、東京の三ツ星レストラン“カンテサンス”のオーナーシェフ岸田周三氏。ワークショップでは、岸田シェフ、小山薫堂氏、株式会社ビームスのバイヤー鈴木修司氏が塩の可能性や天草の魅力など参加者を交えて語り合いました。

マラソン挑戦! よおーい、どん!

御所浦北保育所マラソン大会



▲沿道の応援を受けて走る園児たち

「御所浦北保育所マラソン大会」が1月26日、同保育所周辺のコースで開かれ、0歳から5歳の園児19人が参加しました。園児たちは、クラス別に50～500mのコースに挑戦。沿道の保護者や地域住民の声援を受けながら懸命に走り、全員が完走しました。

500mを走った5歳の徳永龍志くんは、「お友達に負けなようにがんばりました」と満足そうに話していました。

最後となる大会を惜しみながら

THE FINAL第22回天草ロードレース大会



▲強豪高校の選手の迫力あるスタート

1月29日、新和町で「天草ロードレース大会」が開催されました。同町出身の浦田春生氏がバルセロナ五輪に出場したことを記念して平成8年に始まり、天草の陸上界の競技力向上を目指してきました。最後の大会となる今回は、肥後銀行女子駅伝部や県内外の強豪高校など小学生から大人まで501人が参加。ハイレベルなレースが展開されました。

会場では、抽選会や餅投げ、浦田氏の功績を展示したブースなども特別に設けられ、来場者も楽しんでいました。

卒業まえに体当たりの交流

第40回河浦高校送別ラグビー大会



◀生徒と教職員がぶつかりあう

2月6日、河浦高校で「送別ラグビー大会」が開催されました。3月で同校が閉校することによって最後となる今回は、恒例の男子ラグビーに加え、女子生徒によるタッチラグビーも行われました。試合は“生徒”対“教職員”で行われ、女子は15-20で教職員、男子は19-0で生徒が勝利しました。生徒代表の上野奨悟さんは、「3年間の信頼関係があったからこそ、先生たちとぶつかりあえた。感謝の思いでいっぱいです」と話していました。

元気いっぱい走る

牛深地区子ども会駅伝大会



▲元気いっぱい走る子どもたち

1月29日、牛深小学校をスタート・ゴールとする「第34回牛深地区子ども会駅伝大会」が開催されました。子どもたちの健全育成を目的に小学1年生から6年生までの男女12人で各地区ごとに編成された7チームが12区間約13kmのコースで競い合いました。

この日は好天に恵まれ、子どもたちは元気いっぱい走っていました。結果は岡・船津子ども会チームが優勝しました。

夢の実現に向けて

倉岳地区公民館「親学講座」



◀明瀬美さんの講演のようす

1月22日、倉岳多目的研修集会施設で「親学講座」が開催され、町内外から50人が受講しました。親としての見識を高め、親子の絆を深めることを目的に倉岳地区公民館が開催したもの。平成27年1月の「第92回全日本仮装大賞」に本渡東中学校PTAで出場し優勝した、当時の会長の明瀬美さんが「夢の実現に向け踏み出す勇気と行動力」と題して講演。「家庭で親が夢を語ることが、子どもが夢を持つことにつながる」などと話され、受講者は熱心に聞き入っていました。